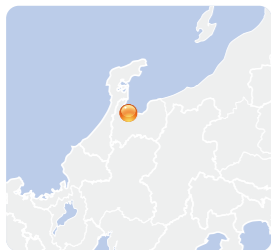


伝統的な町並みと現代工芸が融合！
工芸・生活・産業が同居する「ゾーンミュージアム」。

第15回 ふるさとイベント大賞

奨励賞

金屋町楽市 in さまのこ



【イベントの概要】 「金屋町楽市 in さまのこ」は、江戸時代以来の町並みと銅器工芸の職を残す高岡市金屋町全域を使い、伝統的な町屋や石畳通りなどの加賀藩以来の町並みをとどめる空間で、伝統を守る生活の中で工芸作品の原点を考えてもらおうという企画です。ストリートマーケットとイベントを組み合わせた工芸と生活と産業が同居する「ゾーンミュージアム」という方法論を軸に、伝統産業の再活性化と街区の再活性化を同時に行おうと産・学・官連携で展開してきました。

招待作家や地元の作家、全国から公募の作家に出展いただいた陶芸や金工、ガラスなどの多種多様な作品を美術館レベルに展示し、通りでは市も開催しています。什器自体も新しい製品への刺激として地元産業であるアルミで制作したもので、世界的な建築家・隈研吾氏にデザインを依頼しました。

また、前日には記念シンポジウムを開催し、西洋におけるジャポニズムの成立に深く関わった高岡市出身のパリ万博プロデューサー・林忠正の足跡と視点に焦点を当てながら、日本工芸の復興と地域の伝統産業の新たな展開を示唆することも目標にしています。

- 【自治体名】 富山県高岡市(人口 177,326 人)
- 【主催団体】 金屋町楽市実行委員会
- 【開催回数】 第3回
- 【開催日】 平成22年9月18日(土)～19日(日)
- 【開催場所】 金屋町石畳通り
- 【観客動員数】 24,000 人



【評価のポイント】 富山県高岡市の「金屋町楽市 in さまのこ」は、江戸時代初期以来のシンボルである「さまのこ(千本格子)」が残る町並みと伝統工芸品などの地域資源を活用したイベントである。このイベントを通じて、厳しい状況が続く伝統産業の活性化にもつながっているだけでなく、街中の賑わいの創出にも貢献している。



【おすすめの見所】 伝統的な町屋の千本格子や天窓から差し込む柔らかな光を受けて輝く銅器やガラス工芸作品などと現代デザインによるアルミ什器の共演には、見惚れるほどの美しさがあります。また、安土桃山時代の楽市の雰囲気再現するため、多様な茶会や地域の名店による屋台村を設けたり、着物姿での来場を促したりするなど、風情ある町並みを散策しながら街区全体を作家や町の人と一緒に楽しむイベントです。



金屋町楽市実行委員長 伊東 順二

【次回開催日程】

- 開催日 平成23年9月または10月予定
- 開催場所 金屋町石畳通り一帯
- 問い合わせ 金屋町楽市実行委員会(高岡市役所産業振興部商業観光課内)
 富山県高岡市広小路7-50 TEL: 0766-20-1591
 URL: <http://www.kanaya-rakuichi.jp/>